

# 三宅島オーシャンスイムリレー大会における継続参加・継続訪問要因 Factors of continuous participation and visitation in Miyake Island Ocean Swim

1K06B216

指導教員 主査 木村和彦先生

三輪 雄大

副査 原田尚幸先生

## 【緒言】

スポーツ参加やスポーツ観戦を目的とした旅行であるスポーツツーリズムが着目されている。スポーツツーリズムは単にスポーツ参加やスポーツ観戦のための旅行に留まらず、その開催地域への文化的・経済的効果も大きく期待できる。本研究はスポーツ参加の分野における研究である。

筆者がこの研究に着手しようとした動機は本研究調査対象とした三宅島オーシャンスイムリレー大会の今後の発展に期待したためである。

今後発展が期待されるスポーツツーリズムだが、注目すべきはイベントの継続参加者である。イベントの維持・発展には継続参加者の存在が重要である。

スポーツツーリズムに関する先行研究を検証したところ、イベントへの継続参加要因は、まだ十分に明らかにされていない。また、旅行としてその開催地への観光継続訪問要因に着目している研究に関しては伊藤（2005）のみとなっている。

そこで本研究では、参加者への質問紙調査から、スポーツ・旅行としての満足度の両面を明らかにし、そこから継続参加要因、継続訪問要因を明らかにする事を目的とする。

## 【方法】

### 調査概要

調査対象者：三宅島オーシャンスイムリレー大会参加者

調査時期：9月13日 調査技法：質問紙調査

サンプル数：45 分析方法：統計処理、分析はSPSS（重回帰分析など）

先行研究から抽出された「スタッフの対応」「会場および周辺地域の環境」「イベントの運営」を基に質問紙を作成した。サービス評価・継続参加・継続訪問は五段階尺度を用い、全体の満足度は100点満点での回答とした。仮説ではサービス評価が満足度に繋がり、更には継続参加・継続訪問意思にも影響を及ぼしていると考えた。

## 【結果と考察】

一般のオープンウォータースイミング大会への継続参加意思が最も低く、本大会参加者が三宅島で行われるオープンウォータースイミング大会に参加することに魅力を感じていることがわかった。

満足度の高い項目はスポーツサービス評価では「リレーという形式」「大会全体の運営（安全面）」が、ツーリズムサービス評価では宿泊施設と自然環境の項目が挙げられた。本大会における満足度、継続参加要因において影響を及ぼしたのは「大会全体の運営（プログラム）」が挙がっており、先行研究から抽出された「イベントの運営」に当てはまる結果となった。継続訪問、他のオープンウォータースイミング大会への継続訪問に関しては有意なモデルを得られなかった。

## 【まとめ】

本大会の課題は継続参加者が少ない点である。参加者の満足度はほぼ全ての点で高い水準を記録したが、OWS大会の点においては大会参加費

をおさえる、周辺施設の情報説明の改善、ツーリズムの点においては観光施設・お土産の充実や、買い物環境の改善などがさらなる参加者の満足度を向上させる改善点として挙げられた。

今後の課題は三宅島で行われる他のスポーツツーリズムイベント（トライアスロンなど）を調査し、サンプル数の多いモデルを得る事で、より正確な継続参加・継続訪問要因を特定できると考える。